

平成 29 年度 第 2 回 鳥取県中部地域公共交通協議会について(報告)

- 1 日 時 平成 29 年 11 月 21 日 (火) 15 時 00 分～16 時 30 分
2 場 所 倉吉市役所 大会議室 (本庁舎 3 階)
3 出席者 委員 29 名中 21 名
4 内 容 ①平成 28 年度事業報告及び決算報告について承認いただきました。
②地域公共交通網形成計画策定調査業務の進捗について承認いただきました。
5 資 料 別紙のとおり
6 協議内容 以下のとおり

1. 開会

(事務局)

委員 29 名に対して 23 名の出席。また、欠席者 6 名のうち 5 名から承諾書の提出あり。鳥取県中部地域公共交通協議会設置要綱第 5 条第 3 項の規定による開催要件の過半数を満たしていることを報告。

鳥取県中部地域公共交通協議会設置要綱第 5 条第 7 項の規定により、原則公開となっていることを説明。

2. 会長あいさつ

(石田会長)

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。また、皆さまには日ごろからそれぞれの地域の公共交通の確保について、ご支援・ご尽力を賜っておりますことを重ねて御礼申し上げたいと思います。

従来からこの公共交通も非常に重要であるものという観点から、総合連携計画を作って様々な取組みを進めているところでございます。しかし、色々チャレンジをしておりますが、十分な効果が得られていないということが現実のところではないかと思っております。このような状況の反省も含めて、地域公共交通網形成計画を策定するという事でアンケート等調査事業を行いながら、ワーキンググループを通じて具体的な検討作業を進めさせていただいているところでございます。

今年の年初は大雪が 2 度ありまして、大雪になるとなさら公共交通のあり方の重要性が身に染みてくるような気がしております。やはり高齢者の皆さまにとって公共交通がなくてはならない地域の足であり、公共交通をどのように維持させていくのかということは、我々行政としてしっかりと取り組んでいかなければならないテーマだと思っております。そういう意味でこの網形成計画というものを、きちんと作り上げていきたいと思っております。

本日は連携計画の進捗状況等のご報告もありますが、中心的にはこの網形成計画の調査事業の状況のご報告をさせていただきながらご意見をいただき、今後の計画策定の作業に繋げていきたいと思っております。忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

3. 報告事項

(1) 総合連携計画掲載事業の評価指標について

(事務局説明)

資料 1 について説明。

(質疑応答)

(矢田委員)

4番「フリー乗降区間の検討について、現在どこまで検討をしているのか。

(事務局)

フリー乗降区間の検討はバス事業者と共に現地の確認をしていく必要があります。各町の中でそういった要望があるところについて紹介をさせていただき、現地を見ながら今後実施していく。今回報告させていただいたのは平成28年度の状況であるため、今後各町と場所を特定しながら進めていく。

4. 協議事項

(1) 平成28年度事業報告及び決算報告について

(事務局説明)

資料2について説明。

(尾崎委員)

監査報告。

(質疑なし)

(2) 地域公共交通網形成計画策定調査業務の進捗について

(鳥取県説明)

資料3-1、3-2について説明。

(バイタルリード説明)

資料3-3、3-4、各種調査結果まとめについて説明。

(質疑応答)

(大下委員)

(バイタルリード)

3点意見を述べさせていただく。1点目に、P17に今年度のスケジュール案が示されているが、今年度は第2期連携計画の事業年度中であるため、こちらの事業の実施、進捗の確認を協議会の中で行っていただきたい。また、網形成計画が策定された際には連携計画を残すのではなく、網形成計画に移行するという認識で良いか。

(森山委員)

中部総合事務所地域振興局に寄せられた意見として、現在八頭町において自動運転システムの実証実験が行われているが、この協議会でもそういうものを積極的に検討していくべきではないかというものがあつた。現在実証実験中であり、この地域でそのシステムが合う、合わない、費用対効果等の問題もあるが、今後の施策の体系で検討していくことが可能だと思われるので、このようなご意見があつたということをご報告させていただく。

(鳥取県)

今お話しいただいた自動運転の観点だが、八頭町とソフトバンクで試験運行に向けて協議をしている状況。課題もまだ多くあるようだが、少しずつ進めていらっしゃる状況だと聞いている。この内容にもこのあたりの状況も入れながら考えてもいいのかと思う。

(西尾委員)

施策の体系等について特段異論はないが、一番重要だと思っているのが、具体的に何をするかということ。今全体のスケジュールでは3、4回の協議会があり、計画案の提示が第3回の予定にあるが、第3回の協議会の時には具体的な施策がきちんと盛り込まれていくのかという点の確認をしておきたい。

(鳥取県)

網形成計画は公共交通のマスタープランとなるものであり、すでに西部と東部で網形成計画を策定したが、次の再編実施計画というものがあり、そちらで事業等を具体化し、路線の見直し等を行っていく。ただ、今おっしゃられたように、すぐできるようなこともあろうかと思うので、西部の中でも高校生向けの何とか割引パス、そういったことを盛り込むのかということのをこれから幹事会やワーキンググループを常時やっていきますので、そこでどの程度まで落とし込めるのかを検討し、網計画に落とし込んで、大きな路線の再編とかは再編実施計画でと、少し先送りになってしまいますが、そのように段階をつけて落とし込んでいきたいと思います。

(西尾委員)

少し危惧していますが、先送り、先送りになってしまうのではないかとということで、実際に同じ役所でするのでよくわかると思いますが、当初予算に乗せようと思いましたが、ある程度の時期、年内か、遅くても来年1月くらいまでにはこういう事を新たにしようということが決まらないと、役所はなかなか動けません。特に高校生のバス利用のために新たな施策をしましょうということや支援の制度を作りましょうという部分を盛り込むのであればそのようなタイムスケジュールでやっていかないと、それが平成30年度ではなく平成31年度とかになってしまい、また進まないということになってしまうのではないかとことをすごく危惧しています。全体的に見たところ、利用促進のための制度、施策が薄いと思います。これは、事業者さんからご提案をいただかないとなかなか出来ないところではありますが、バス事業者さんやJRさんとかと連携して何かこういうような支援の制度ができればもう少し利用が増えるかもしれないところについて行政として支援する分には出来るだけ予算化はしたいと思えますし、路線維持のためにお金を使っているのならそういった施策には何とかお金を通したいと行政側としては思うので、そのあたりのところで具体的な提案を盛り込んで、何とか年内か年明けの早い時期にそれを盛り込んでほしいと思います。

(鳥取県)

わかりました。おっしゃっていただきましたように、特に利用促進の取り組みは出来るところからしたいと思えますし、そこは幹事会等で改めて早めに落とし込むようにしたいと思えます。それから補足ですが、本日の午前中に地域振興協議会という全市町村さま、交通事業者、商工会議所、鉄道事業者等が集まりまして、新たに公共交通の利用促進に向けた取り組みに係る協議会を立ち上げました。そちらの方でも先ほどおっしゃっていただきました取り組みが具体的なものができるのかどうかを両方で検討していきたいと思えます。

(大下委員)

(知久馬委員)

(事務局)

次に、資料P1に連携計画と網形成計画の違いについての記載があるが、第2期連携計画の内容はかなり網形成計画イメージに近い内容となっていると感じる。中部地域は定住自立圏構想をはじめとして様々な計画が策定されているため、網形成計画の策定に際しては上位計画に沿った計画となるよう取り組んでいきたい。

最後に、2点目と重複する部分もあるが、中部ではすでに連携計画策定をはじめとする取り組みが進められているため、これまでの経験を活かして今年度策定に向かっていけば効果的であると思われる。

(事務局)

5. その他
特になし

6. 終了